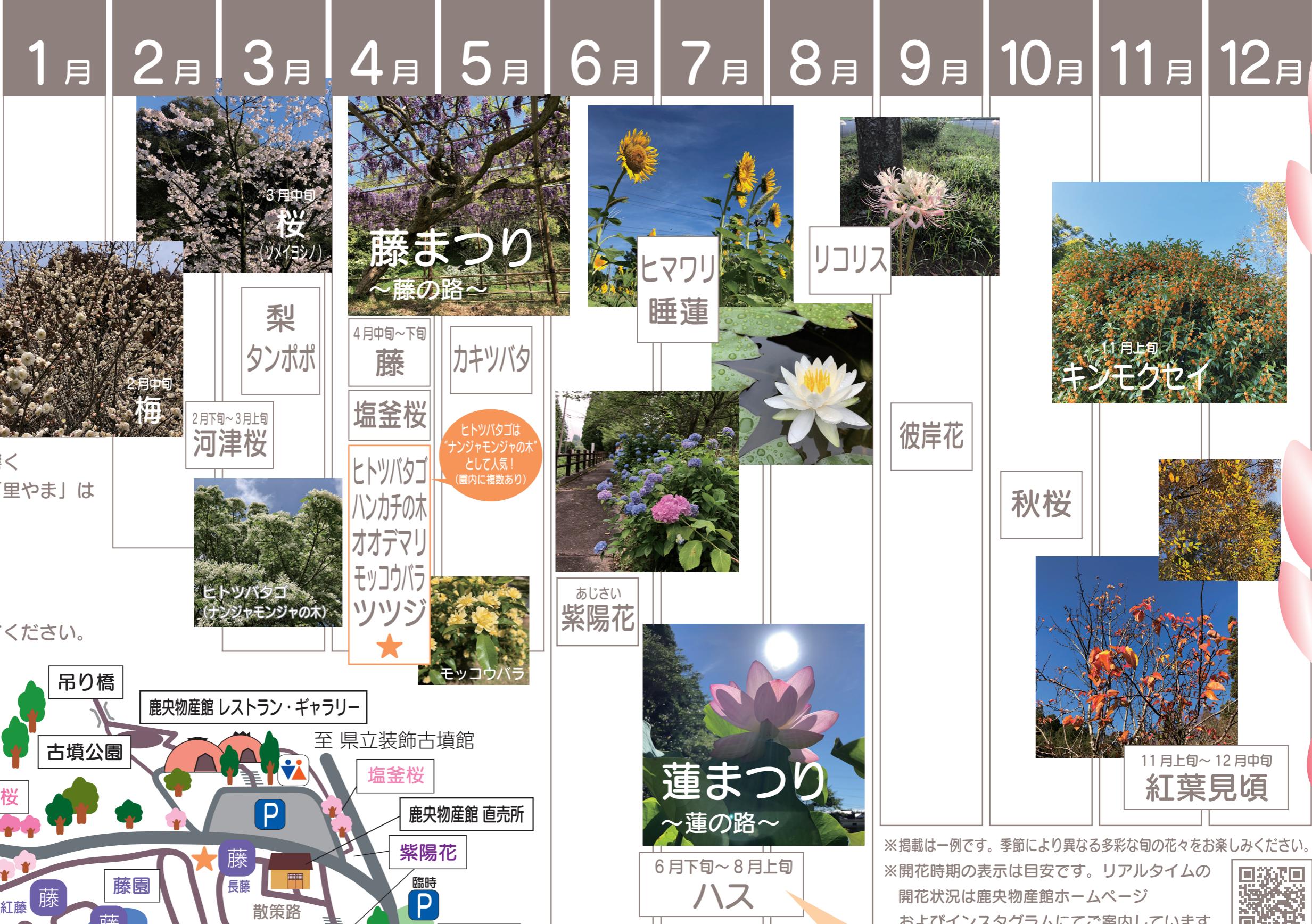
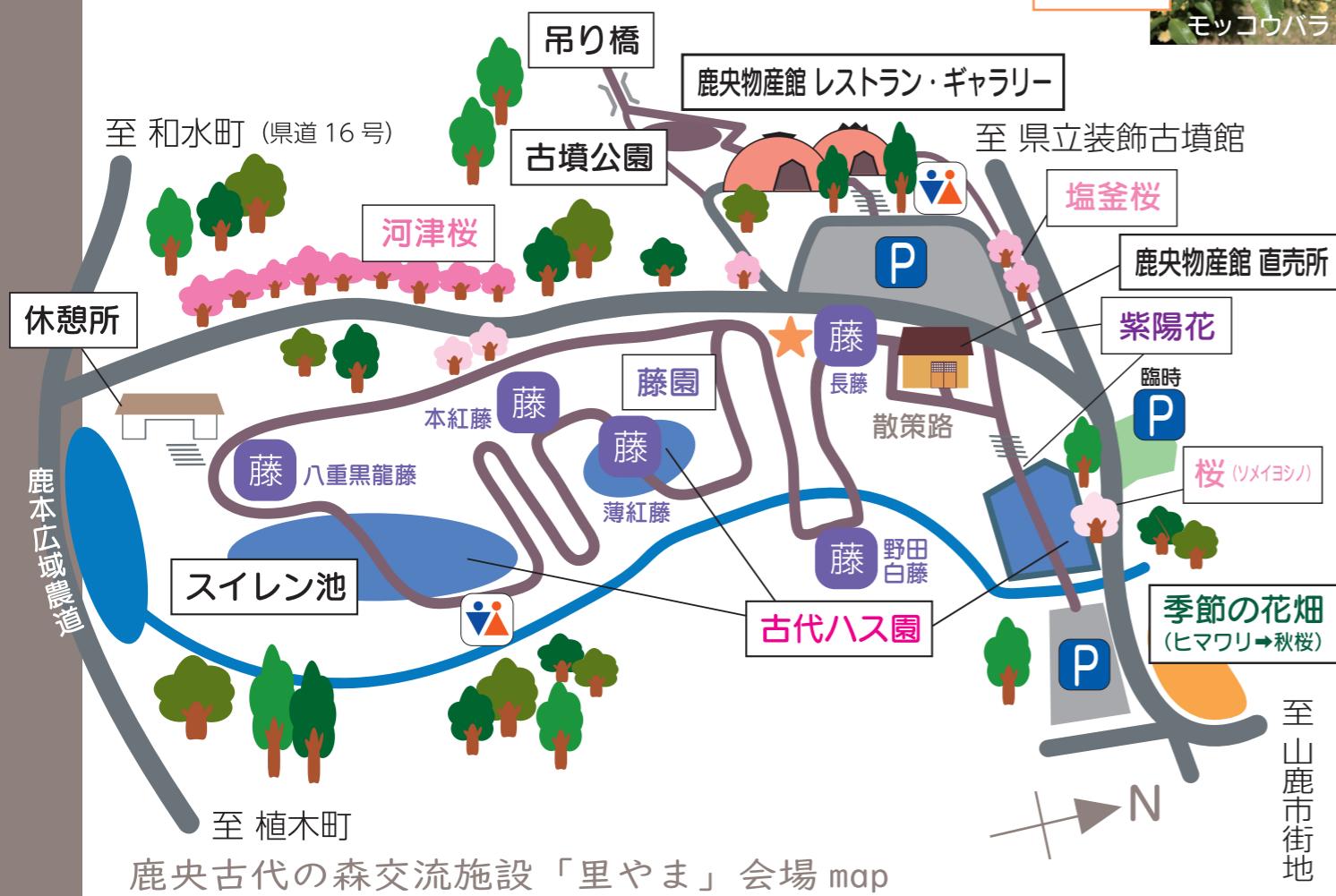


鹿央里やま花めぐり

小鳥たちのさえずりが響く
鹿央古代の森交流施設「里やま」は
花と緑でいっぱい。
往復 800m の散策路と
その周辺にて次々と開く
多彩な季節の花々を
ぜひ一度、見つけに来てください。



2000 年の眠りから目覚めて 70 年。

昭和 26 年 (1951) 春、千葉市の遺跡から発掘された古代ハスの種は、翌昭和 27 年 (1952) 7 月 18 日に大輪の花を咲かせました。開花に尽力した植物学者：大賀一郎先生の名を取り、「大賀ハス」と名付けられたこの古代ハスは日本と世界の各地に株分けされ、今もなお“2000 年以上前のハス”として現地の人々に親しまれています。奇跡的な開花から 70 年の月日が経った令和 4 年 (2022) 夏、鹿央古代の森交流施設「里やま」の「古代ハス園」にて時代を超えたハスの見事な美しさに触れてください。

